

孝標女(たかすえのむすめ)と物語

～源氏に魅せられた乙女～

今また源氏物語がブームとなっています。

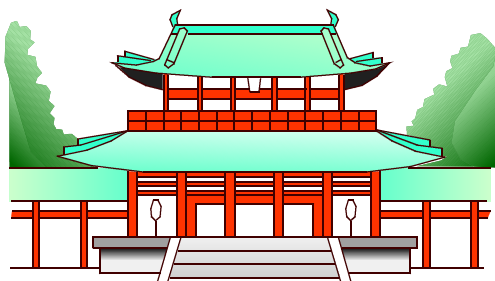
●平安時代に劣らぬといわれる、女流作家の盛んな活躍の中で、瀬戸内寂聴の現代語訳をきっかけとして、いろいろな作家による、「源氏」が発刊され広く読まれています。



●今回は、源氏物語の完成と同じ頃生まれ、「源氏」を古典としてではなく、現代文学として、それに魅せられ読みふけていた一乙女を通して「源氏」をはじめ、当時の物語などについてのお話です。

講師 活水女子大学教授 中田秀夫先生

【プロフィール】 昭和11年、島根県津和野町生まれ。長崎大学学芸学部国語科卒。県立五島高校から県内の高校、県教育庁、県庁総務部などに勤務。口加高校、長崎南高校長を経て現職。平安文学を専攻。著書に「蜻蛉日記と更級日記」「青春と文学」ほか。



□ とき 平成11年11月6日(土)
午後2時～4時

□ ところ 島原市・白山公民館

入場無料

□ 主催 島原市民文化講座・島原文化連盟・島原市教育委員会